

1 単元 My Project 7 有名人にインタビューしよう

2 単元について

(1) 目標

- 友人と協力しながら積極的にスキット活動を行うことができる。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- マッピングを基にして、インタビュー内容の構成に注意しながら論理的に原稿を作成することができる。  
(外国語表現の能力)
- 芸能人やスポーツ選手に対するインタビューのモデル文を読んで、その構成や内容を正しく理解することができる。  
(外国語理解の能力)
- 既習表現の文構造・意味・用法について理解を深める。  
(言語や文化についての知識・理解)

(2) 教材観

本単元は、これまでの既習事項を活用しながら2人1組のペアを作ってスキット活動を行い、口頭発表することを課題としている。準備の段階では主に「読む」「書く」活動を行い、発表の段階では主に「話す」「聞く」活動を行うことから、中学校学習指導要領の内容(1)に示されている4つの言語活動を総合的に指導していくのにふさわしい内容となっている。また、この活動を成功させるためには、今までに学習した事項を統合的に活用して準備する必要があるため、既習表現の定着を図るのに適した題材であると考えられる。

3 指導にあたって

(1) 生徒の実態 (男子\*人 女子\*人 計\*人)

本学級には、全体的に前向きに学習に取り組む生徒が多く、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする姿が見られる。自分の思いを発表することに躊躇しがちな生徒も見られるが、お互いに協力し合いながら活動に取り組むことができている。また、4月に実施した英語学習に関する意識調査の結果から、多くの生徒が「話す力」と「書く力」を更に伸ばしていきたいと考えていることがわかる。

(2) 指導観

本単元では、場面に応じてペア活動やグループ活動の形態をとりつつ、お互いに学び合う姿勢を大切にしながら、話す力や書く力を中心とした表現力の向上を図りたいと考えている。更に、授業開始時の4分間を帯活動の時間として設定し、英語を用いた双方向的なコミュニケーション活動を継続的に実施していくことで、高等学校で行われているディベートへの接続をイメージしながら、中・高連携を目指した授業を展開していきたい。

4 指導計画・評価計画 (4時間扱い)

時	学 習 活 動	評価の観点	おおむね満足できる (B)
1	インタビューのモデル文を読んだり、聞いたりして、その内容を理解する。	外国語理解の能力	芸能人やスポーツ選手に対するインタビューのモデル文を読んで、その構成や内容を正しく理解することができる。
2	スキット活動で用いる質問文や応答文を作成する。また、マッピングを用いて、質問文や応答文を整理する。	外国語表現の能力 言語や文化についての知識・理解	相手を想定して質問内容を考え、既習表現を用いてインタビューの原稿を作成することができる。 既習表現の文構造・意味・用法について理解を深めることができる。
③ 本時	前時に行ったマッピングの資料を活用し、スキットの原稿を完成させる。また、原稿をもとに、ペアになって練習を行う。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 外国語表現の能力	積極的に友人たちとスキット活動に取り組むことができる。 マッピングを基にして、インタビュー内容の構成に注意しながら論理的に原稿を作成することができる。
4	自分たちで作成し	コミュニケーションへ	積極的に友人たちとスキット活動に取

た原稿をもとに、スキット活動を行う。	の関心・意欲・態度	り組むことができる。
	外国語表現の能力	ジェスチャーを活用したり、相づちを打ったりするなど、工夫して役割を演じることができる。

5 本時の学習

(1) 目標

- 友人と協力しながら積極的にスキット活動を行うことができる。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- マッピングを基にして、インタビュー内容の構成に注意しながら論理的に原稿を作成することができる。(外国語表現の能力)
- ◇ 相手が話した内容に対して、質問、つなぎ言葉、相槌などを用いて対話を発展させることができる。(小・中・高等学校を円滑に接続するCAN-DOリスト: Speaking)

(2) 準備・資料

インタラクティブカード、マッピングシート、インタビューシート (原稿)

(3) 展開

主な活動と内容 (形態)	活動への支援内容と留意点 ◎評価
<p>1 英語であいさつを交わす。(一斉) T: Good morning, ~ . S: Good morning, ~ .</p> <p>2 インタラクティブタイムを行う。(グループ) ・ 3人～4人のグループを作り、与えられたトピックについて4分間会話をする。 ----- S1: What season do you like the best? S2: My favorite season is winter because I can enjoy skiing. How about you? S1: I like fall the best because I can eat a lot of delicious food. -----</p>	<p>・ 英語で挨拶を交わしたり、天気や曜日、月日などの確認をしたりすることで、授業の雰囲気作りをし、コミュニケーション活動に向けてのウォームアップをする。</p> <p>・ 間違いを恐れず、積極的に発言する雰囲気を大切にできるよう留意する。</p> <p>・ ただ意見を述べるだけでなく、理由も付け加えることで、より論理的な表現ができるよう助言する。</p> <p>◎ 相手が話した内容に対して、質問、つなぎ言葉、相槌などを用いて対話を発展させることができたか。 (CAN-DOリスト: Speaking) [観察]</p>
<p>3 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>インタビュー原稿を完成し、発表に向けてペアで練習しよう。</p> </div>	<p>・ 本時の学習課題と授業の流れを提示することにより、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p>
<p>4 インタビュー原稿を完成させる。(ペア)</p> <p>(1) 前時に行ったマッピングを見ながら、表現や構成についての確認を行い、原稿を完成させる。</p> <p>(2) 原稿が完成したら、黒板にネームカードを貼り、ALTに名前を呼ばれたら、チェックをしてもらい、修正箇所があれば修正する。</p> <p>(3) 修正後の原稿をJTEに提出し、内容の構成を確認する。</p>	<p>・ 分かりやすく一貫性のある構成(漠然とした質問→具体的な質問)を意識して原稿を作成できるよう助言する。</p> <p>・ ALTは完成した生徒の原稿をチェックし、次時の発表に向けて助言をする。</p> <p>・ JTEは机間指導を行い、まだ完成していないペアを支援する。</p> <p>◎ 内容の構成に注意しながら、論理的に原稿を作成することができたか。 (外国語表現の能力) [ワークシート]</p>
<p>5 発表へ向けた練習を行う。(ペア)</p> <p>・ 自分たちが作った台本をもとに練習を行う。</p> <p>----- S1: Are you from Japan? S2: Yes, I am. But I live in Italy now. -----</p>	<p>・ 机間指導を行い、戸惑っているペアには個別に発音の模範を示すなどの支援をする。</p> <p>◎ 友人と協力しながら積極的に練習することができたか。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) [観察]</p>
<p>6 本時のまとめと自己評価をする。(一斉)</p> <p>・ 自己評価を記入する。</p>	<p>・ 本時の学習で身に付けたことや、気付いたことを、次時の活動に生かしていけるように助言する。</p>